



50のちから実行委員会

実行委員長 弘内 英一郎

基本方針



2006年度社団法人 中村青年会議所は、創立50周年を迎えます。これまでの50年という歴史を築いてこられたシニアクラブまたOBのみなさまに対しまして深く感謝をしております。と同時にいつも私たち(社)中村青年会議所にご理解とご協力をいただきました関係諸団体の皆様や行政の皆様のご指導が無ければこうして節目の50年を迎えるということは不可能だったと考えております。(社)中村青年会議所の50年の歴史を振り返るといことは旧中村市の歴史を振り返ることといっても過言ではありません。私たちの先輩方がまっすぐにこの街のことを思い、憂い、感動し、そして誇ってきた、自慢してきたと思います。その感謝と感動と責任をという思いで50年、51年の歩みとしたいと考えています。

最後の清流四万十川の流れるこの街で「明るい豊かな社会」の実現を目指し、社団法人 中村青年会議所は1956年7月20日初代理事長 清水亨一先輩をはじめとする有志の皆様で設立され、1964年11月19日に3代目理事長佐田文雄先輩のもと、社団法人 高知青年会議所のスポンサーにより全国263番目の認証をいただきました。50年という大きな節目にあたり諸先輩方が、築き上げてこられたわが町中村に対する情熱を私たち現役が継承し、これからのステージに勇気と情熱を持って行動し次の世代につなげていきたい 向かうべき方向を明確にし、新しいステージに挑戦します。

各地で市町村合併が行われ、中央集権から地方分権へと変わり、「自分たちの町を、自分たちの手で創りあげる」という時代になりました。しかし地域主権こそが青年会議所創立の原点であり、地域に根ざした活動こそが私たち青年の本来はたすべき使命ではないでしょうか。

記念事業では「川」そして「海」というテーマに的を絞って考えて行きたいと思えます。中村JCと川は街づくりを考えていく上で密接につながっております。35周年では四万十川筏下り事業、40周年では後川探偵発見団とそして通年事業では、四万十川カヌー下りなどを展開してまいりました。50周年記念事業ではもう一度改めて川を振り返りそしてもう一つ「海」をテーマに上げさせていただき四万十市の誕生で広がった私たちの街が色々な意味で融合していき住民と住民が交流し住民同士の一体感が味わえ又、未来の四万十川、未来の海、四万十市を託すであろう子供たちにも、四万十川とその最終到着点である海をいかした ONLY・ONE な街づくりを記念事業を通じて提案していきたいと考えております。私たち中村青年会議所は創立50周年を節目に、向かうべき方向をより明確にし、新しいステージへと挑戦して参ります。

事業計画

事業名	事業目的	実施予定日
50周年記念事業の開催	四万十市がひとつになることができる記念事業の計画、実施。	7月
50周年記念式典	50年という(社)中村青年会議所の歴史の重み、感動が伝わる式典の開催	9月16日
大懇親会	感動を共有する事のできる大懇親の開催。	9月16日
50周年記念誌の発行	50年の伝統、歴史が伝わる記念誌の制作、発行。	10月末
PR活動	(社)中村青年会議所50周年を幅広くPRする	通年